

政策目標

1

互いに支え合い 健やかに暮らせるまち

住み慣れた故郷^{ふるさと}で、子どもたちの健やかな成長を支え、またそのエネルギーをまちの活力に換え、さらに、子どもの笑顔で高齢者の生きがいを支えていく連鎖を生み出すことができる心のまちを目指します。

[施策分野]

- 1-1 健康づくりの推進
- 1-2 地域医療の充実
- 1-3 子育て支援の充実
- 1-4 児童保育の充実
- 1-5 高齢者福祉の充実
- 1-6 高齢者介護の充実
- 1-7 障がい福祉の充実
- 1-8 地域福祉の充実
- 1-9 生活自立支援
- 1-10 社会保障制度の運営



政策目標 ① 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

健康づくりの推進

現状と課題

近年、食生活・運動習慣などライフスタイル*の変化に伴い、生活習慣病が増加しています。今後、医療や介護を必要とする高齢者の増加が予測される中で、健康寿命を延ばし生涯を通じて健やかで心豊かに生活できる環境づくりが求められています。

根室市では、市民一人ひとりが自身の健康に関心を持ち、自ら行動できるよう知識の普及啓発をはじめ、市内医療機関や関係団体等との連携の下、各種健診(検診)、保健指導等による疾病の予防と早期発見、また、各種健康・栄養相談等の実施により、市民の健康づくりを支援しています。

基本的な生活習慣を整え改善するなど、家庭や地域での継続的な健康づくりへの取組みとともに、健康づくりを守り支える環境整備が求められており、また、生活習慣病の発症・重症化予防を図るため、根室市の健康課題である肥満・高血圧・高血糖への対策のほか、「がん」をはじめとした疾病予防と早期発見のための取組みの推進が必要です。

近年、新型インフルエンザ等の感染症が社会生活に不安を与えており、感染症予防と蔓延防止を図るための各種予防接種や早期発見・治療のための検診を実施していますが、接種の促進に向けた対象者への周知など、市民の感染予防を推進するための円滑な実施に努めていく必要があります。

目標

市民誰もが心身ともに健康な生活を送るまち

成果指標

指 標	内容・出所等	現状値 (H26)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
健康状態が良好と感じている市民の割合	現在の健康状態にきわめて良好、良好と回答した市民の割合(根室市/健康づくりのためのアンケート調査)	39.8%	45.0%	56.0%
健康管理に努めている市民の割合	日頃の健康管理に努めていると回答した市民の割合(根室市/健康づくりのためのアンケート調査)	61.2%	66.0%	72.0%

* ライフスタイル：生活の様式・営み方、人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方のこと。



目標を実現するための具体的な方策

市民の健康意識の向上と健康づくりの推進	健康教育、健康相談、訪問指導等の充実や健診(検診)を受けやすい環境づくりに努め、自らの健康状態を把握し健康管理ができるよう健康づくりの取組みを推進するほか、生活習慣病予防のための生活改善や重症化予防を推進します。
予防接種の実施など感染症予防対策の推進	各種予防接種や検診などの実施により、感染症の予防と蔓延防止を図ります。
健康づくりを支える環境整備の推進	保健サービスの拠点化や公衆衛生施設の確保に努めるとともに、関係団体等と連携し生涯にわたる健康づくりを地域で支え見守るための環境整備を図ります。

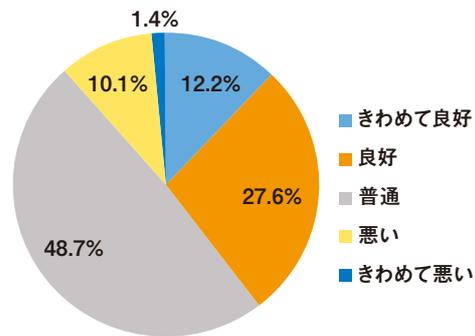
① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

施策体系

1. 健康づくりの推進

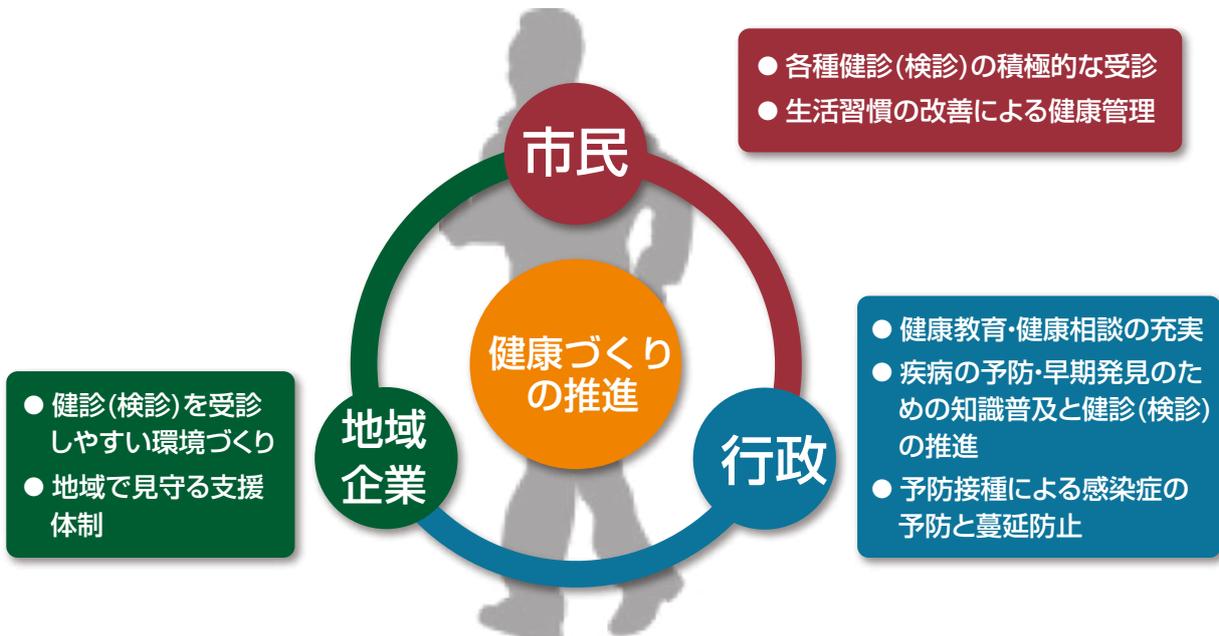
- (1) 健康づくり対策の充実
- (2) 感染症予防対策の推進
- (3) 健康づくりを支える環境整備の推進

市民の健康状態について



資料：根室市健康づくりのためのアンケート (H26)

市民協働で進める取組み



1-2



政策目標 ① 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

地域医療の充実

①

政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

現状と課題

高齢化の進行や生活習慣病の増加など疾病構造の変化により市民の医療ニーズが多様化する中で、市内の医療機関それぞれが機能を分担しながら地域医療を支える重要な役割を担っています。将来にわたって良質な医療サービスを提供していくためには、医療従事者を安定的に確保するとともに、在宅医療や緩和ケアの推進など保健・医療・福祉が一体となった包括的なサービスの提供が求められています。

地域医療は、地域が一体となって守り育てていくことが重要であり、中でも市立根室病院は「地域センター病院」として、また、第二次医療圏の中核医療機関として救急医療をはじめ必要な医療体制を維持していくとともに、第三次医療圏との広域的なネットワークによる安定した地域医療連携体制の充実が求められています。

全国的に医師の地域偏在や特定診療科の医師不足が続く中、根室市の重要課題の一つである分娩の早期再開をはじめとした積極的な医師招へい活動や医療従事者の確保を目的とした支援制度などの取組みを推進する必要があります。

目標

地域医療が充実し良質な医療を受けることができるまち

成果指標

指 標	内容・出所等	現状値 (H25)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合	市内の医療機関の状況に満足、やや満足と回答した市民の割合(根室市/市民意識調査)	10.3%	35.0%	55.0%



目標を実現するための具体的な方策

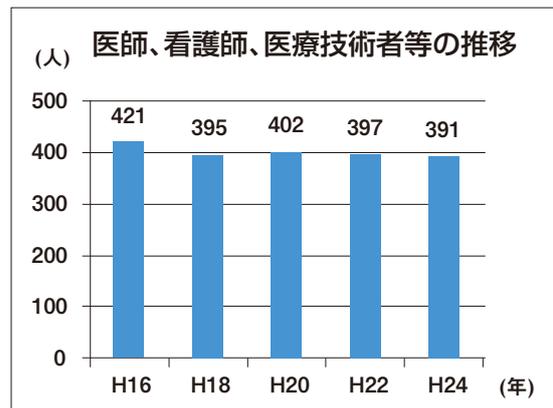
地域医療体制の充実	市民の医療ニーズに対応し、安心して医療を受けることができるよう、医療を担う人材の育成支援や市立病院・診療所機能の維持・整備を図り、市内医療機関相互の連携や広域的な医療ネットワークの推進により、地域医療体制の充実に努めます。
保健・医療・福祉一体の包括的なサービスの提供	在宅医療や緩和ケアの推進など保健・医療・福祉が一体となった包括的サービスの提供体制の充実に努めます。
市立根室病院の医療体制の充実	市内唯一の公立病院としての役割を果たすため、医療体制の充実が求められていることから、医師、看護師等の医療従事者の確保を進め、市民が安心して医療を受けることができる体制の充実に努めます。
市立根室病院の経営健全化の推進	市立根室病院が果たすべき役割を明確にしたうえで、持続可能な病院経営を図るため、経営形態の見直しをはじめとした収支改善の取組みを強化し、病院経営の改善に努めます。

① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

施策体系

2. 地域医療の充実

- (1) 地域医療ネットワークの推進
- (2) 地域医療機関の包括的サービスの提供
- (3) 市立根室病院の医療体制の充実
- (4) 市立根室病院の経営健全化の推進
- (5) 医療従事者の確保



資料：根室保健所

市民協働で進める取組み



1-3



政策目標 ① 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

子育て支援の充実

① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

現状と課題

少子化や核家族化、就労女性の増加など子育て環境は大きく変化しており、妊娠・出産・育児に対するニーズも多様化しています。妊娠期から乳幼児期の健康支援はもとより、ケースに応じた母親の心のケアなど健全な母子育成が求められることから、母親同士のつながりを強めることや、専門スタッフを配置した相談体制の充実など、関係機関や保健・医療・福祉が連携した支援の推進が必要です。

近年の地域社会におけるつながりの希薄化による影響から、地域で子どもを育む意識が低下しており、そのため、子どもの自主性や社会性が十分に育たないなどの指摘がされているほか、親のストレス増加も懸念されています。身近で気軽に子育て相談ができる場として「子育て相談所」を開設していますが、地域住民や子育てサークルでの親子の遊びなどの活動を支援し、子育ての喜びを実感できるさらなる環境づくりが必要です。

家庭での出産、育児に係る費用の負担は大きく、子育て世帯に対してはこども医療費等の助成など経済的支援に努めていますが、さらなる経済的負担の軽減が求められており、今後も安心して子育てができる環境づくりに向けた支援の充実が必要です。

目標

地域で子どもを見守り安心して子育てができるまち

成果指標

指 標	内容・出所等	現状値	目標値 (H32)	目標値 (H37)
子育ての環境や支援に満足している保護者の割合	子育ての環境や支援に満足、やや満足と回答した保護者の割合(根室市/子ども・子育て支援アンケート)	7.7% (H25)	30.0%	50.0%
合計特殊出生率*	合計特殊出生率(北海道/釧路根室地域保健情報年報)	1.37 (H23)	1.49	1.61

* 合計特殊出生率: 15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計した数値のこと。一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。



目標を実現するための具体的な方策

地域で子どもを見守り育てる意識の高揚	地域の人々とのつながりの中で、子どもの成長を見守り・育てる意識の高揚を図ります。
健全な育児環境づくりのための相談・支援体制の充実	妊産婦、乳幼児の健康支援の充実や分娩に伴う経済的負担の軽減、また、家庭が抱える悩みや不安に対応するため、専門スタッフを配置した相談体制の充実など、保健・医療・福祉が連携した支援の推進を図ります。
子育て世帯の経済的負担の軽減	経済的不安の解消を図り、安心して子育てができる環境づくりを推進するため、保育料の軽減や子ども医療費助成などの支援を充実します。

①

政策目標1「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

施策体系

3.子育て支援の充実

- (1) 地域における子育て環境づくり
- (2) 相談・支援体制の充実
- (3) ひとり親家庭の支援体制の充実
- (4) 児童の健全育成



市民協働で進める取組み



1-4



政策目標 ① 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

児童保育の充実

現状と課題

根室市の児童保育は、乳幼児保育のほか障がいのある児童の受入れ等にも対応しており、また、一時保育や民間保育園で実施する延長保育事業への補助支援などに取り組んでいます。今後、未就学児童の保育等については、子ども・子育て支援新制度に伴い民間幼稚園・民間保育園等との連携・協調を図り、その充実に向け取り組む必要があります。

アレルギーや障がいのある児童のほか、児童虐待への対応など、複雑・多様化する保育ニーズに対応するため、職員の資質向上や関係機関との連携を図り、それぞれの児童へ適切な対応をするとともに、家庭への支援も含めた総合的な保育サービスの向上を図る必要があります。

保育施設の適正配置については、少子化に伴う民間保育園との統合や指定管理による運営に取り組んできましたが、今後も少子化の進行が推測されることから、引き続き対応を検討する必要があります。また、より良い保育環境を提供するため、施設の維持補修を随時進めるとともに、老朽化が著しい施設については、保育所の適正配置との関連も含め、計画的な対応が求められています。

目標

多様化する保育ニーズに応え保育環境の充実したまち

成果指標

指 標	内容・出所等	現状値 (H25)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合	乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足、やや満足と回答した市民の割合(根室市/市民意識調査)	5.7%	30.0%	50.0%



目標を実現するための具体的な方策

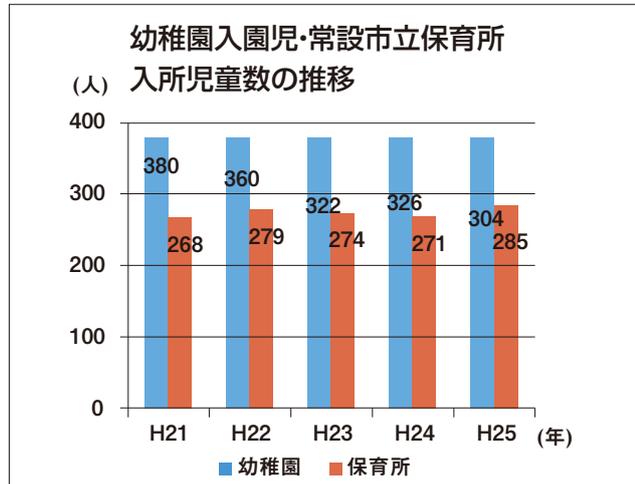
多様化する保育ニーズに対応するための支援体制の充実	アレルギーや障がいのある児童のほか、児童虐待など多様化する保育ニーズに対応するため、職員の資質向上や関係する専門機関との連携強化を図り、支援体制を充実します。
子どもが健やかに育つための保育環境の充実	民間保育園・幼稚園との連携・協調の下、一時保育や延長保育などの特別保育の実施や子ども・子育て支援新制度に対応するとともに、保育所の適正配置と施設の老朽化への対応など、保育環境の充実を図ります。

① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

施策体系

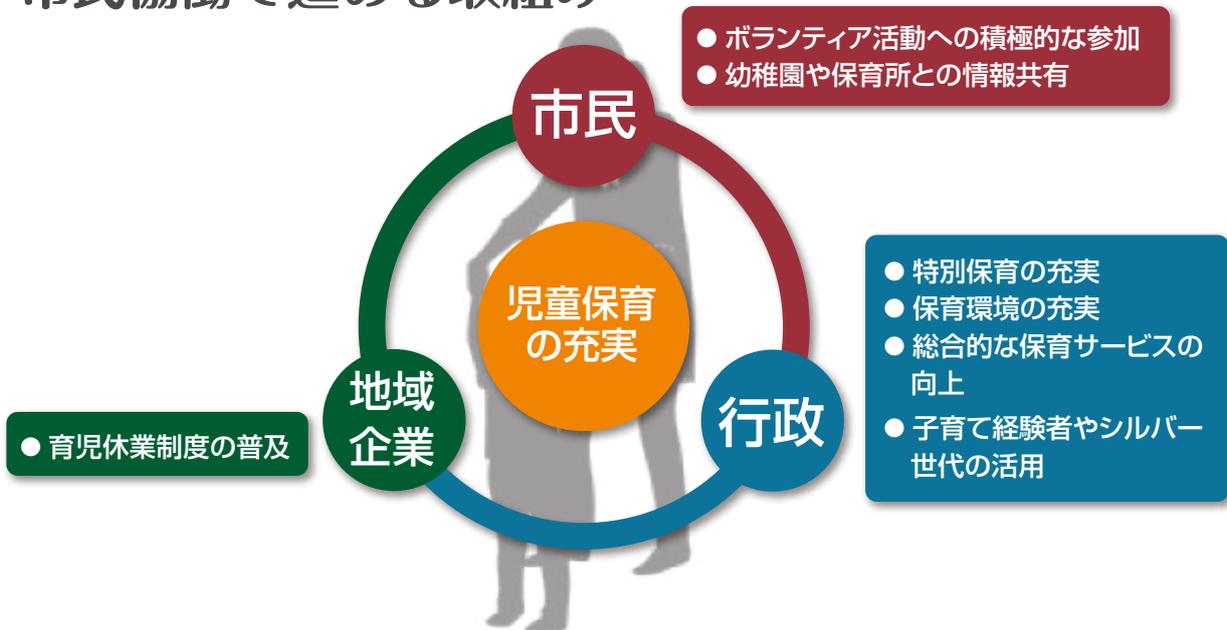
4. 児童保育の充実

- (1) 保育サービスの充実
- (2) 保育環境の充実



資料：学校基本調査、社会福祉課

市民協働で進める取組み



1-5



政策目標 ① 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

高齢者福祉の充実

現状と課題

根室市の高齢者人口は、平成25年度末で8,172人、高齢化率は29.1%であり、団塊の世代が高齢期を迎えるなど、今後も高齢化が進行する中、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、日常生活支援など福祉サービスの充実やそれぞれの生活ニーズに応じた住環境の整備が求められています。

また、一人暮らしや夫婦のみの高齢世帯も増加しており、日頃からの声かけや見守りなど地域で支え合う環境づくりも必要です。

高齢社会を明るく活力に満ちたものとするには、高齢者が健康で生きがいのある生活を営むことが重要であり、健康増進に向けた取組みや、趣味活動、就労による社会参加機会の確保など、生きがいづくりのための取組みを進める必要があります。

目標

高齢者が生きがいをもって活躍するまち

成果指標

指 標	内容・出所等	現状値	目標値 (H32)	目標値 (H37)
趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合	趣味や楽しみ、生きがいになることがあると回答した60歳以上の市民の割合(根室市/健康づくりのためのアンケート調査)	61.1% (H26)	65.0%	70.0%
町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合	町会等の行事、サークル、地域のイベント等に出かけると回答した60歳以上の市民の割合(根室市/健康づくりのためのアンケート調査)	52.9% (H26)	55.0%	60.0%
高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合	高齢者のための福祉施策に満足していると回答した65歳以上の市民の割合(根室市/高齢者実態把握調査)	21.9% (H23)	30.0%	40.0%



目標を実現するための具体的な方策

生きがいづくりと自立した高齢期への支援	高齢者の社会参画による生きがいづくりを促進するとともに、介護予防や健康増進に向けた取組みを推進します。
高齢者福祉サービスの充実	日常生活支援や見守りなど地域と連携した在宅福祉サービスの充実を図ります。
高齢者が安心して生活できる住環境づくり	住宅改修や高齢者向け住宅等、生活ニーズに応じた住環境づくりに努めます。

① 政策目標1「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

施策体系

5. 高齢者福祉の充実

- (1) 高齢者の社会参画の促進
- (2) 医療・介護・予防の連携推進
- (3) 高齢者福祉サービスの充実
- (4) 高齢者のニーズに応じた住環境の整備

老人クラブ加入状況の推移

年 度	クラブ数	会員数	加入率
平成20年度	61	2,510	25.9%
平成21年度	60	2,446	24.6%
平成22年度	59	2,368	23.4%
平成23年度	58	2,275	22.1%
平成24年度	57	2,205	20.9%

資料：老人福祉センター

市民協働で進める取組み



1-6



政策目標 ① 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

高齢者介護の充実

現状と課題

根室市の要介護認定者は、平成25年度末で1,286人(認定率15.8%)であり、高齢化が急速に進行する中、認知症高齢者も増加することが予測されています。このような中、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりが課題となっています。

団塊の世代が後期高齢者となる平成37年を見据え、限られた医療・介護資源を有効に活用し、地域の特性に応じた必要なサービスを確保していくことが求められており、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に行う「地域包括ケアシステム※」を推進する必要があります。また、在宅での生活が困難な高齢者に対する施設サービス等の充実も求められています。

介護サービスは「人が支えるサービス」であり、介護に携わる人材の確保とともに、多様なニーズに対応できるよう介護スタッフの資質や知識の向上が求められています。

目標

人と人が支え合い高齢者が安心して暮らせるまち

成果指標

指 標	内容・出所等	現状値 (H26)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
健康管理に努めている市民の割合	日頃の健康管理に努めていると回答した60歳以上の市民の割合(根室市/健康づくりのためのアンケート)	69.6%	75.0%	80.0%
認知症サポーター数	認知症サポーター養成講座の受講者の累計数(根室市調べ)	989人	1,200人	1,400人

※ 地域包括ケアシステム: 地域住民に対し、保健サービス、医療サービス及び在宅ケア、リハビリテーション等の介護を含む福祉サービスを関係者が連携、協力して、地域住民のニーズに応じて一体的、体系的に提供する仕組みのこと。



目標を実現するための具体的な方策

介護が必要な高齢者への支援	介護を必要とする人のニーズに対応した質の高い介護サービスの充実を図ります。
地域包括ケアシステムの構築による自立した在宅生活への支援	「地域包括ケアシステム」を構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します。また、高齢者が尊厳ある生活を維持できるよう権利擁護のための支援を行います。
介護予防の推進	認知症の早期発見や高齢者に適した健康づくりなど介護予防と健康増進の取組みを推進します。

① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

施策体系

6. 高齢者介護の充実

- (1) 介護サービスの充実
- (2) 自立した在宅生活への支援
- (3) 介護予防の推進

介護保険サービスの供給状況

居宅サービスの種類	供給体制
訪問介護(ホームヘルプサービス)	ヘルパー52人
通所介護(デイサービス)	7施設(1日179人)
通所リハビリテーション	1施設(1日37人)
短期入所生活介護(ショートステイ)	専用ベッド10床
短期入所療養介護	空きベッド利用2床
訪問入浴介護	1日10人
訪問看護	2ステーション
小規模多機能型居宅介護	登録定員25人

施設サービスの種類	供給体制
介護老人福祉施設	1施設86床
介護老人保健施設	1施設70床
認知症対応型共同生活介護	2施設36人
特定施設(外部サービス利用型)	1施設150床
特定施設(包括型)	40室

資料：介護福祉課（26）

市民協働で進める取組み



1-7



政策目標 ① 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

障がい福祉の充実

① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

現状と課題

全ての人が障がいの有無に関わらず相互に個性と人格を尊重し合う共生社会の実現に向け、障がいのある人が地域で安心して生活することができるよう、社会全体として支え合う環境づくりが必要です。

障がいの要因は様々ですが、障がいの軽減や重度化を防ぐための早期発見・早期治療に向けた取り組みや関係機関等と連携した相談体制の充実をはじめ、障がいのある人のライフステージに応じた福祉サービスの提供を推進する必要があります。

また、障がいのある人が充実した生活を送れるようスポーツや文化活動による社会参加の促進や個々の特性に応じた就労機会の支援に努めるとともに、物理的な障壁のみならず意識や慣行等に潜む障壁を解消するため、ユニバーサルデザイン*の普及促進やノーマライゼーション*理念の浸透を図り、障がいのある人が、地域で豊かに安心して暮らせる取組みを推進する必要があります。

目標

障がい福祉サービスが充実しているまち

成果指標

指 標	内容・出所等	現状値 (H26)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
各種障がい福祉サービスの利用実績	各種障がい福祉サービスの利用実績件数(根室市調べ)	2,899件	3,200件	3,500件
地域生活支援事業*の利用実績	意思疎通支援・社会参加支援等の利用件数(根室市調べ)	1,158件	1,280件	1,420件

* ユニバーサルデザイン:高齢であることや障がいの有無などにかかわらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。

* ノーマライゼーション:障がいのある人や高齢者がほかの人々と等しく生きる社会・福祉環境の整備実現を目指す考え方のこと。

* 地域生活支援事業:地域の特性や利用者の状況に応じて柔軟な事業形態で計画的に実施する事業のこと。



目標を実現するための具体的な方策

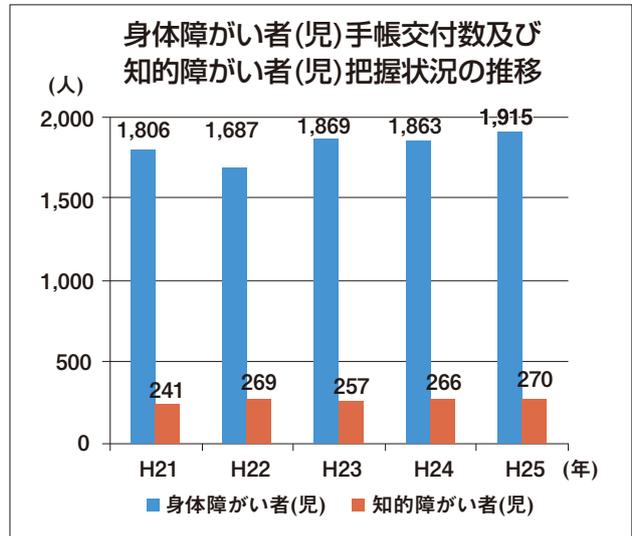
障がい福祉サービスの充実	障がいの早期発見・療育・治療の取組みに努めるとともに、利用者の状況に応じて関係機関や事業者などが連携した障がい福祉サービスの充実を図ります。
社会参加の促進と就労支援の充実	スポーツや文化活動など社会参加の促進と、個々の特性に応じた就労支援の充実を図ります。
障がいのある人が安心して生活できる環境づくりの推進	バリアフリー化の推進と障がいへの理解の促進に努めるとともに、障がいのある人が安心して生活できるよう権利擁護のための支援を行います。

① 政策目標1「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

施策体系

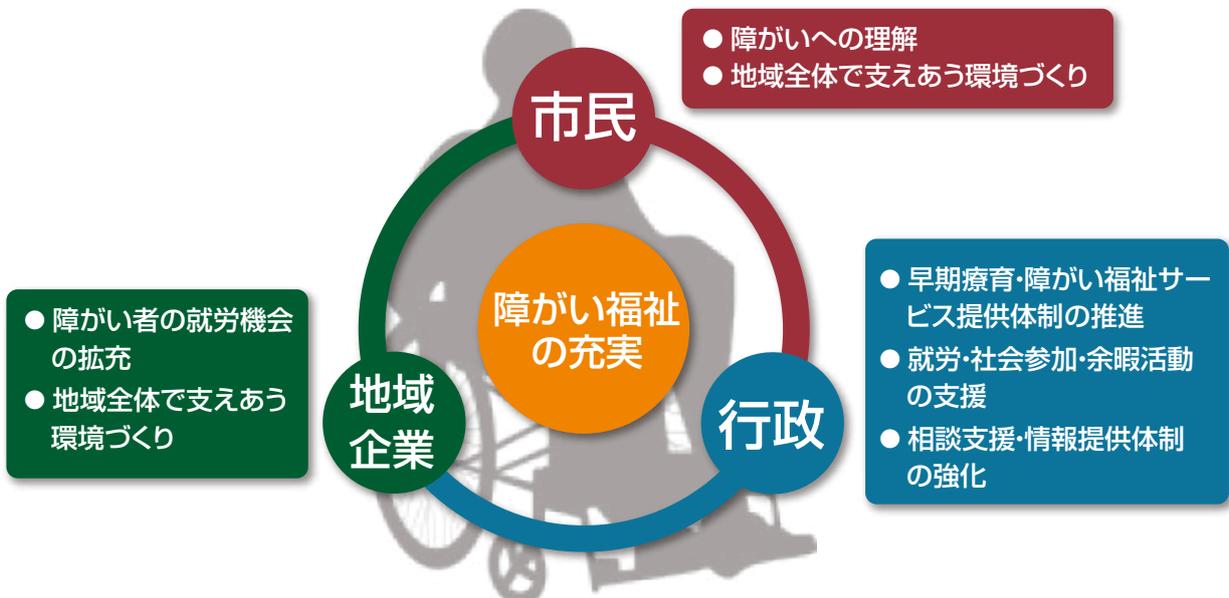
7.障がい福祉の充実

- (1) 障がい福祉サービスの充実
- (2) 社会参加の促進と就労支援の充実
- (3) 障がいへの理解促進



資料：介護福祉課

市民協働で進める取組み



1-8



政策目標 ① 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

地域福祉の充実

① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

現状と課題

市民の福祉ニーズは、少子高齢化の進行などにより多様化しており、また、孤立や生活困窮等、複合的な生活課題を抱えている人も増加しています。このため、地域福祉の中心的な役割を担っている社会福祉協議会など関係機関との連携による地域福祉ネットワークの強化とともに、ボランティア活動や地域住民による高齢者の見守りなど、互いに支え合う意識の醸成と行動を促し、地域と行政が協働して地域福祉の充実を図ることが必要です。

少子高齢化の進行や若い世代の人口流出などにより、地域福祉を担う人材の確保が課題となっており、地域コミュニティ*や福祉活動の活性化のためには、ボランティア団体に対する支援の充実とともに人材の確保・育成を推進する必要があります。

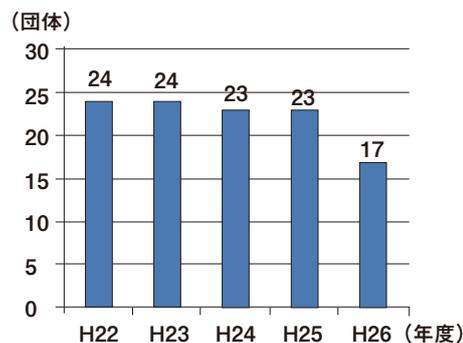
目標

地域で互いに助け合い支え合うまち

成果指標

指 標	内容・出所等	現状値 (H26)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
福祉ボランティアの登録団体数	ボランティアセンターへの登録数 (根室市社会福祉協議会調べ)	17団体	22団体	27団体

福祉ボランティアの登録団体数の推移



資料:根室市社会福祉協議会

* 地域コミュニティ:住民相互の交流が行われている地域社会、あるいはそのような住民の集団のこと。



目標を実現するための具体的な方策

地域福祉に関する意識の高揚	ボランティア活動などの体験を通じて地域福祉に関する意識の高揚を図り、地域全体で支え合う体制を構築します。
地域福祉ネットワークの強化	地域福祉に取り組む社会福祉協議会、民生委員児童委員、町会やボランティア団体、NPO、民間事業者と行政の連携を強化します。
ボランティア団体への支援と福祉活動を担う人材の育成	ボランティア団体への支援とともに、地域で福祉を担う意欲のある人材、知識や経験を有する中核的な人材の育成を推進します。

① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

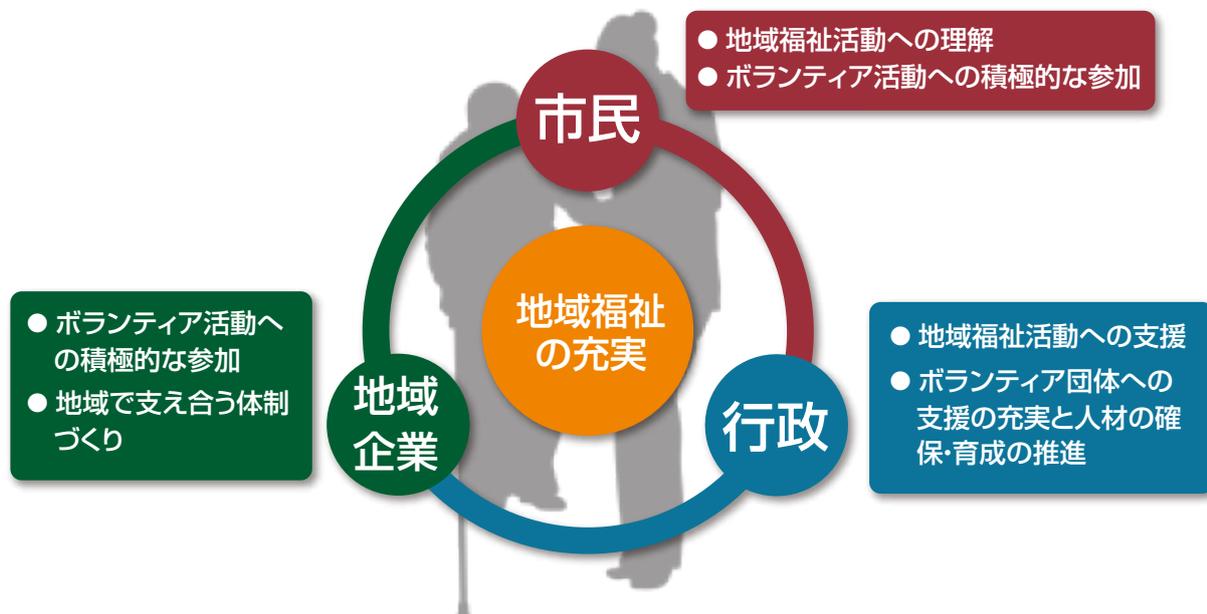
施策体系

8. 地域福祉の充実

- (1) 地域福祉に関する意識の高揚
- (2) 地域福祉ネットワークの強化
- (3) 福祉活動を担う団体支援と人材育成の推進



市民協働で進める取組み



1-9



政策目標 ① 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

生活自立支援

① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

現状と課題

根室市の生活保護世帯は、不安定な経済情勢や厳しい雇用環境の影響、高齢化の進行などによる社会的状況を背景に、平成22年度から急激に増加しています。中でも若年層の失業者が増加しているため、生活保護費などの経済的な給付のほか、就労支援専門員とケースワーカーによる就労支援を行うとともに、ハローワークとの連携を図りながら早期就労や自立に向けた支援を実施していますが、総合的な支援の充実のため、被保護世帯の実情に応じた新たな自立支援プログラムが必要です。

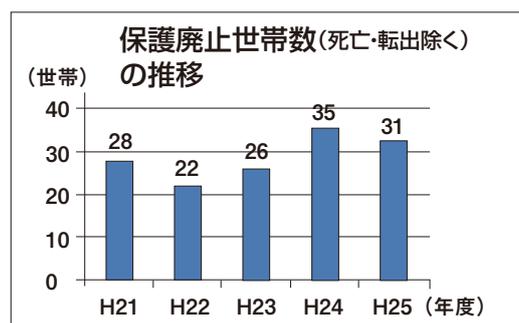
地域コミュニティ*の希薄化や個人情報保護の観点から、生活困窮者の発見・把握が課題となっています。また、地域からの孤立のほか、複雑な問題をかかえている場合も多く、民生委員児童委員などによる活動を通じて、生活困窮者を早期発見し適切な支援につなげていくため、相談しやすい窓口を設置するとともに関係機関との連携を図り、様々な課題に対する包括的な支援体制の充実が必要です。

目標

自立した生活を送るための支援体制が充実したまち

成果指標

指 標	内容・出所等	現状値 (H26)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
生活困窮者の相談件数	福祉事務所で受けた生活保護・生活困窮の相談件数(根室市調べ)	75件	145件	155件
生活保護から自立した世帯数	保護廃止世帯のうち死亡・転出を除いた世帯数(根室市調べ)	31世帯/年	36世帯/年	41世帯/年



資料:社会福祉課

* 地域コミュニティ:住民相互の交流が行われている地域社会、あるいはそのような住民の集団のこと。



目標を実現するための具体的な方策

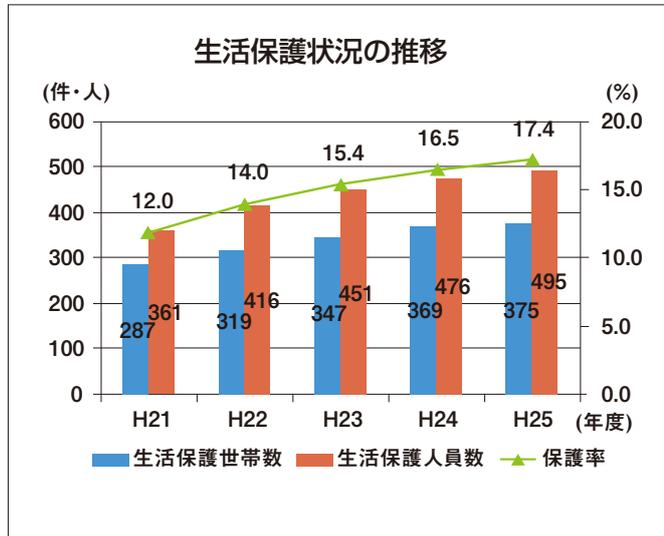
生活困窮者の早期発見と支援体制の充実	民生委員児童委員やハローワーク等と連携し、支援を必要とする世帯の早期発見に努め、個々の状況に応じて迅速に対応できるネットワークの充実を図ります。
生活困窮者への相談体制及び就労支援の充実	雇用、教育など生活全般に関わる相談に応じ、的確な相談や助言を行うため民生委員児童委員との連携を強化するとともに、就労支援の充実に努めます。
被保護者への自立支援プログラムなどの充実	被保護世帯の実情に応じた新たな自立支援プログラムにより、就職活動に有効な技能習得等の総合的な支援の充実に努めます。

① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

施策体系

9.生活自立支援

- (1)生活基盤安定化の促進
- (2)相談・支援体制の充実
- (3)自立支援の推進



資料：社会福祉課

市民協働で進める取組み



1-10



政策目標 ① 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

社会保障制度の運営

① 政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

現状と課題

国民健康保険は、他の医療保険に属さない全ての住民を被保険者とした、国民皆保険を支える社会保障制度です。しかし、国民健康保険の財政基盤は極めて脆弱なものとなっており、低所得の加入者が多いことや、年齢構成が高く医療費水準が高いなど、根室市においてもその財政運営は厳しい状況となっています。

このような中、国では、将来にわたり持続可能な制度とするため、国保運営の都道府県移管をはじめとする医療保険制度改革が進められていますが、引き続き、国保事業の安定的な運営に努めていく必要があります。

介護保険制度は、高齢化の進行に伴い要介護状態の高齢者を社会的に支える仕組みであり、引き続き、適正な要介護認定や給付、さらには制度に対する市民理解の向上を図る必要があります。

後期高齢者医療制度は、高齢期における適切な医療の確保を図るための制度であり、北海道後期高齢者医療広域連合が保険者となっていますが、持続的かつ安定的な運営のため、引き続き医療費適正化対策などに努める必要があります。

国民年金は老後などの生活の安定に欠かせない社会保障制度であり、生涯にわたり安定した所得が得られるよう、制度の意義や役割等について普及啓発に努め、一層の理解と加入の促進を図る必要があります。

目標

将来にわたり市民が安心して生活できるまち

成果指標

指 標	内容・出所等	現状値 (H26)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
国民健康保険被保険者 1人当たりの医療費	国民健康保険被保険者1人 当たりの医療費(根室市調べ)	326,965円	326,965円	326,965円



目標を実現するための具体的な方策

国民健康保険の安定的運営	国民健康保険の安定的な運営が図られるよう、国民健康保険税の収納率の向上に努めるとともに、特定健康診査の推進など医療費の適正化対策に努めます。
介護保険の安定的運営	介護保険の適正・安定的な運営を図るため、介護認定調査員の更なる資質の向上や介護保険料の収納率向上に努めます。
後期高齢者医療制度の安定的運営	後期高齢者医療制度の安定的な運営を図るため、北海道後期高齢者医療広域連合と連携し、制度の理解促進に努めるとともに、医療費の適正化対策に努めます。
国民年金制度の啓発	関係機関との連携を強化し、国民年金制度への一層の理解促進を図るため、普及・啓発や相談業務の充実と加入促進に努めます。

①

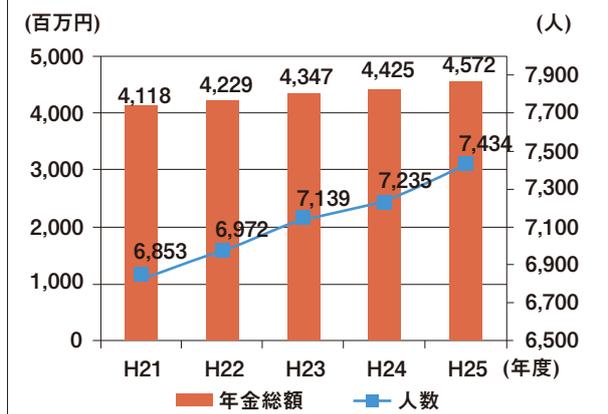
政策目標「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」

施策体系

10. 社会保障制度の運営

- (1) 国民健康保険の安定的運営
- (2) 介護保険の安定的運営
- (3) 後期高齢者医療制度の安定的運営
- (4) 国民年金制度の啓発

国民年金受給者数及び年金総額(老齢)の推移



資料：保健課

市民協働で進める取組み



